

令和元年度 事業報告

1 総括

当財団では、県民の総合的な健康づくりを推進するため、果たすべき役割をしっかりと認識し、各種健診・検査事業、普及啓発事業、県からの受託事業等を実施するとともに、着実な事業運営に努めてきた。

令和元年度の業務の概況であるが、財団の主要事業である健診・検査事業では、県内全域をカバーした健康診断・検査を実施し、生活習慣病等の疾病予防と早期発見、受診率向上を目指し、県民の保健・医療・福祉の向上に努めた。

このうち、健診事業においては、人為的ミスの削減と健診精度向上のためIT 機器を活用した新たな健診システムを導入し、機器等の取扱いの習熟研修を経て、令和2年3月から職域の巡回健診に導入した。

普及啓発事業では、リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 ぐんまを過去最多の参加チーム数で開催する予定であったが、台風19号の接近を受けやむなく中止した。また、令和2年3月に予定していた群馬県地域保健研究発表会も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、開催を中止した。

このほか、財団として今後5年間に取組むべき事項を中期事業計画として取りまとめたほか、国の働き方改革に対応し体制整備に努めた。

2 重点実施事項

(1) 体制整備

① 総合的なリスクマネジメント体系の整備

財団が行う医療や、各種健診・検査の現場における医療安全管理を組織的に管理し、安全や信頼性の向上に努めた。また、ヒヤリハット事例の報告・周知に徹底して取組み、職員の情報共有を推進した。

② 中期事業計画策定

財団が県民の期待に応えながら、継続的に安定して事業を行っていくために、今後5年間に取組むべき事項を中期事業計画として取りまとめた。

③ マンモグラフィーのデジタル化推進

マンモグラフィーのデジタル化を進め、全レントゲン装置のデジタル化を完了した。

④ 巡回健診のIT化

健診における人為的ミスを減らし、業務の効率化を図るため、検診データをICカードに収集し、結果処理を行うシステムを導入し、令和2年3月から職域の巡回健診で運用を開始した。

⑤ 職員の資質向上

全職員を対象とした財団内部の研修を実施するとともに、外部団体主催の研修会に職員を積極的に参加させ、職員の知識・技術の向上に努めた。

内部研修 新規採用研修、医療安全研修、ヒヤリハット研修、メンタルヘルス研修、個人情報保護研修等を開催

外部研修 本部三団体（（公財）結核予防会・（公財）日本対がん協会・（公財）予防医学事業中央会）その他団体が主催する各種専門分野 87 の研修会に職員（延べ 186 名）を派遣

⑥ 雇用体系の整備

国の働き方改革に連動し、タイムレコーダーを導入し労働時間の把握・管理に努めるとともに、全職員に対し年次有給休暇 5 日間の取得を促し、取得させた。

⑦ 個人情報保護

健診機関としての社会的責任を認識し、個人情報保護に努めるため、令和元年 7 月にプライバシーマーク（個人情報保護マネジメントシステム：有効期間 2 年間）を更新し、個人情報の取扱・管理の徹底を継続実施し、個人情報保護に万全を期した。

(2) 健診検査事業

県の方針に基づき、市町村と連携して財団の基盤である各種健(検)診を着実に実施し、受診率向上を目指した。

① 循環器健診

前年度に引き続き、職域健診受診者数が地域健診受診者数を上回った。地域健診受診者数は減少した市町村も多かったが、甘楽町の健診を新規に受託したことから、全体では前年並みとなった。職域健診受診者数は、新規に受託した事業所があったことから、2.0%の微増となった。

② がん検診

前年に続き「がん検診のための実施指針」の改正、個別健診化の流れ等の影響からがん検診の受診者数が減少した市町村が目立った。

胃がん検診は、内視鏡併用の影響などから受診者数が 4.2%減少した。

乳がん検診のうち視触診検診は、みどり市が実施を取りやめたことから 3.1%減少したが、マンモグラフィー検診は受診者数が増加した市町村もあり、全体で 3.9%の増加となった。

なお、乳房超音波検査は、引き続き大泉町からモデル的に受託し 1,532 名に対して実施した。

大腸がん検診は、新規受託もあり件数が5.3%増加した。

肺がん検診、子宮頸がん検診、前立腺がん検診については、前年度並みとなっている。

③ 保健指導

制度改正により特定健診と同時に実施する初回分割型特定保健指導を、新たに3市町村を加えた5市町村から受託し、対前年216人増の538人の初回分割型保健指導を実施した。

④ 風しん抗体検査

国の風しんに関する追加的対策を推進するため、地域・職域健診において817件実施した。

⑤ 市町村との連携強化

地域健診の受診率向上を目指し、市町村との連携強化を図る観点から、令和2年2月に「群馬県健康づくり財団健康セミナー」を開催。外部講師によるフレイル対策に関する講演と併せて、財団の令和2年度事業説明を行った。

(3) 普及啓発事業

① リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 ぐんま

令和元年10月12日、13日の両日にわたり、がん患者やその家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指すチャリティーイベントである「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 ぐんま」を94団体の参加を得て開催する予定だったが、台風19号接近により、イベントは中止となった。7回目の開催にして、初めての中止となったが、事前に企業・団体・個人の方々から、たくさんの協賛金・募金をいただき、募金総額5,792,528円を集め、募金総額においては全国2位となった。

② がん征圧啓発

令和元年9月、ポートルース桐生において、(公財)日本対がん協会と連携して、ブース展示等の「ピンクリボンキャンペーン」を行った。

③ 地域保健研究発表会

令和2年3月、県内地域保健関係者の研究発表の場として、「群馬県地域保健研究発表会(第7回)」を開催し、15の演題の発表を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、やむなく中止とし、作成した抄録集を関係団体等に配布した。

④ あさを賞

令和元年12月、県民の健康増進、疾病予防等に役立つ調査研究者5名に対し、健康づくり研究助成「あさを賞」助成金の交付を決定した。

(4) 群馬県からの受託事業等

全国がん登録事業、不妊専門相談センター事業、臓器移植推進事業及び群馬県がんピアサポーター派遣事業を受託し実施した。

(5) 本部支部団体関連会議

(公財) 予防医学事業中央会が毎年全国持ち回りで開催している「全国業務研修会(各都府県支部の渉外担当者研修会)」を、当番支部として令和2年2月に高崎市で開催した。

3 主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
5月12日	乳がん患者会と連携して「乳がん検診受診促進 母の日キャンペーン」を開催(けやきウォーク前橋)
6月12日	理事会(理事13名・監事1名出席)
6月27日	評議員会(評議員10名出席)
7月17日	プライバシーマーク付与適格性更新審査
8月1日	群馬県健康福祉部長表敬訪問(複十字シール募金運動協力依頼)
9月22日	がん征圧ピンクリボンキャンペーン(ボートレース桐生)
10月12日・13日	台風19号襲来のため「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019ぐんま」を中止
11月3日	ぐんまマラソンに協賛、ブースを出展(正田醤油スタジアム群馬)
12月19日	健康づくり研究助成「あさを賞」選考委員会(5件の助成を決定)
2月6日・7日	「全国業務研修会」を予防医学中央会と共催
2月13日	「群馬県健康づくり財団健康セミナー」を開催
3月11日	理事会(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、決議の省略にて実施)
3月17日	「群馬県地域保健研究発表会」(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止)
3月26日	評議員会(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止)

4 事業基盤の確立

(1) 賛助会員

区 分	会費(1口)	会員数(件)	金額(円)
法人会員	10,000	53	530,000
団体会員	5,000	44	220,000
個人会員	1,000	23	23,000
合 計		120	773,000

5 事業実績

(1) 普及啓発事業

項 目		活 動 内 容
週 間 月 間 行 事	がん征圧月間 (9月)	年間を通じ、群馬県がん患者団体連絡協議会と連携して啓発キャンペーンを実施した。 がん征圧月間では、ピンクリボンキャンペーンを実施したほか、新聞広告掲載や関係機関へポスター配布(1,500部)等を行った。
	結核予防週間 (9/24～30)	「男女共同参画フェスティバル(群馬県女性団体連絡協議会主催)」にて群馬県地域婦人団体連合会(全国結核予防婦人団体連絡協議会群馬県支部)と連携して啓発キャンペーンを実施した。結核予防週間では、新聞広告掲載や関係機関へポスターや配布等を行った。(ポスター 650部、パンフレット 1,450部)
	臓器移植普及 推進月間(10月)	県内ショッピングモール等で群馬県腎臓病患者連絡協議会と連携して啓発キャンペーンを実施した。啓発品を配布して、意思表示の促進を図った。(群馬県からの委託事業)
行 事 開 催	リレー・フォー・ ライフ・ジャパン 2019ぐんま	リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会事務局として、令和元年10月12～13日にALSOKぐんま総合スポーツセンターで第7回大会を開催予定だったが、台風19号襲来により、急遽開催を中止とした。
	群馬県地域保健 研究発表会	県内の地域保健関係者が、日常業務を通じた調査研究活動から得られた成果を発表する群馬県地域保健研究発表会を令和2年3月に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。
行 事 協 賛	ぐんまマラソン (第29回)	ぐんまマラソンに協賛して、健康チェックブースを出展し、参加者に健康意識の啓発を図った。
複十字シール運動		結核や肺がん・COPDを含む胸部に関する疾患をなくして、健康で明るい社会を作るため、これらの病気に関する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、事業資金を集めるために行われる募金活動を実施した。(結核予防会主催の全国運動)(募金額 2,825,560円)
健 康 教 育 資 料 提 供	機関誌発行	機関誌「健やかぐんま(No.24～No.27)」を発行した。 (8ページ構成、8,500部、年4回)
	機関誌等の配布	各種関連団体が発行する機関誌(予防医学ジャーナル(378部)・複十字(1,425部)・対がん協会報(3,640部)・健康の輪(330部))を関係機関に配布し、健康関連情報を提供した。
	教育資材の貸出	市町村等関係団体に対し、血管年齢測定器(9団体)、血管年齢・ストレス測定器(9団体)、脳年齢測定器(8団体)、活力年齢測定器(11団体)、乳がん教育用パネル・触診モデル(6団体)、骨粗鬆症モデル(2団体)を貸し出した。

(2) 健診検査事業

① 胸部検診

(単位:人)

区 分	対 象	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
胸部(結核)検診	地 域	993	723	137.3
	職 域	38,336	37,382	102.6
	学 校	25,535	25,918	98.5
	合 計	64,864	64,023	101.3
肺がん検診	地 域	101,543	101,422	100.1
	読影受託のみ	11,311	11,757	96.2
	職 域	2,020	2,152	93.9
	合 計	114,874	115,331	99.6
アスベスト検診		609	634	96.1
じん肺検診		415	199	208.5

② 循環器健診

(単位:人)

区 分	対 象	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
循環器健診	地 域	39,618	39,274	100.9
	職 域	42,258	41,418	102.0
	合 計	81,876	80,692	101.5
A B C 検査	地 域	2,029	2,413	84.1
【特定健診件数内数】	心電図検査	12,251	12,221	100.2
特定健診 詳細項目	眼底検査	8,186	8,674	94.4
風しん抗体検査	地域・職域	817		

③ 胃がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
胃がん検診	地 域	23,472	24,822	94.6
	職 域	6,350	6,300	100.8
	合 計	29,822	31,122	95.8

④ 子宮頸がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
子宮頸がん検診	地 域	27,297	27,733	98.4
	職 域	1,298	1,177	110.3
	合 計	28,595	28,910	98.9

⑤ 乳がん検診・(甲状腺)検診

(単位:人)

区 分	対 象	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
視触診検診	地 域	8,337	8,607	96.9
	職 域	648	661	98.0
	合 計	8,985	9,268	96.9
マンモグラフィ検査	地 域	24,671	23,700	104.1
	職 域	1,494	1,481	100.9
	合 計	26,165	25,181	103.9
乳房超音波検査		1,532	1,497	102.3
合 計		36,682	35,946	102.0

⑥ 大腸がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
大腸がん検診	地 域	27,975	26,678	104.9
	職 域	4,293	3,963	108.3
	合 計	32,268	30,641	105.3

⑦ 前立腺がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
前立腺がん検診	地 域	16,025	15,863	101.0
	職 域	551	553	99.6
	合 計	16,576	16,416	101.0

⑧ その他健診

・保健指導(初回面接分割型を除く)

(単位:人)

区 分	対 象	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
特定保健指導	積極的支援	195	228	85.5
	動機付け支援	295	308	95.8
一 般 保 健 指 導		435	482	90.2
合 計		925	1,018	90.9

・初回面接分割型保健指導

(単位:人)

区 分	対 象	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
特定保健指導 初回実施数		538	322	167.1
階層化後	積極的支援	108	54	200.0
	動機付け支援	329	175	188.0
	情報提供	58	62	93.5
	医療優先	43	31	138.7

・健康サポート事業

(単位:件)

区 分	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
健康サポート事業	5	9	55.6

・骨密度検診

(単位:人)

区 分	対 象	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
骨密度検診	地 域	2,989	2,976	100.4
	職 域	318	352	90.3
	合 計	3,307	3,328	99.4

・歯周疾患検診

(単位:人)

区 分	対 象	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
歯周疾患検診	地 域	48	51	94.1
歯科検診	職 域	737	708	104.1
唾 液 検 査	地 域	223	257	86.8
	職 域	186	311	59.8
合 計		1,194	1,327	90.0

・心身の健康づくり事業

(単位:人)

区 分	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)	
心身の健康 づくり事業	個別カウンセリング	4	5	80.0
	ストレスチェック	14,136	14,504	97.5
	合 計	14,140	14,509	97.5

⑨ 腸内細菌検査事業

(単位:件)

区 分	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
腸 内 細 菌 検 査	78,704	80,962	97.2

⑩ 病理検査事業

(単位:件)

区 分	内 容	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
病 理 検 査	細胞診検査	42,323	42,288	100.1
	組織診検査	8,221	7,865	104.5
	喀痰細胞診検査	4,265	4,602	92.7
	合 計	54,809	54,755	100.1

⑪ 学校保健検査

(単位:件)

区 分	内 容	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
学 校 保 健 検 査	寄生虫検査	735	1,043	70.5
	尿 検 査	135,172	118,609	114.0
	血 液 検 査	1,662	1,412	117.7
	貧 血 検 査	26,659	28,587	93.3
	心 臓 検 診	60,703	58,377	104.0
	小児生活習慣病健診	3,667	3,834	95.6
	合 計	228,598	211,862	107.9

⑫ 先天性代謝異常検査

(単位:件)

区 分	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
先 天 性 代 謝 異 常 検 査	14,961	15,883	94.2

⑬ 食品検査

(単位:件)

区 分	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
食 品 検 査	17,269	16,949	101.9

⑭ 水質検査

(単位:件)

区 分	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
水 質 検 査	18,464	19,414	95.1

⑮ 診療所健診

(単位:人)

区 分	内 容	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比(%)
精 密 検 査	胃 が ん	68	74	91.9
	大 腸 が ん	50	34	147.1
	乳がん・(甲状腺)	365	322	113.4
	そ の 他	740	906	81.7
	合 計	1,223	1,336	91.5
施 設 内 健 診	日帰り人間ドック	1,722	1,830	94.1
	その他健康診断	15,481	14,130	109.6
	合 計	17,203	15,960	107.8

・ がん登録状況(暦年)

(単位:件)

区分	登録の状況	届出の状況	
	罹患数	届出票の届出数	病医院及び診療所数
平成6年	6,303	2,648	92
平成10年	6,513	5,101	79
平成15年	6,078	3,406	61
平成20年	12,111	7,738	74
平成25年	14,407	19,213	99
平成26年	14,727	19,797	97
平成27年	15,092	20,982	93
平成28年	16,255	13,471	80
平成29年		26,559	95
平成30年		23,138	110
令和元年		23,221	109
累計(平成6年～令和元年)	208,704	293,027	2,086

注:「登録の状況」平成25年以降の件数については、地域がん登録から全国がん登録に移行したため、国(国立がんセンター)により集計されています。

注:平成6年から実施。平成7年～9年、平成11年～平成14年、平成16年～平成19年、平成21年～24年は記載省略。

・ 不妊専門相談

(単位:件)

年度	相談件数
平成11年	69
平成15年	97
平成20年	162
平成25年	144
平成26年	124
平成27年	144
平成28年	106
平成29年	137
平成30年	153
令和元年	152
累計(平成11年～令和元年)	2,506

注 平成11年から実施。平成12年～14年、平成16年～19年、平成21年～24年は記載省略。

・ がんピアサポーター派遣状況

年度	派遣先(医療機関)数	延べ派遣人数(人)
平成25年(※)	3医療機関	90
平成26年	6医療機関	224
平成27年	8医療機関	261
平成28年	9医療機関	283
平成29年	10医療機関	314
平成30年	11医療機関	333
令和元年	11医療機関	322
累計	58医療機関	1,827

※受託期間は半年

注:平成25年から実施。